

外部評価者記入用

指定管理者評価シート(第2次評価)

所 管 課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課
評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	知明湖キャンプ場
	所 在 地	川西市黒川字落合381番地先
	設置目的	野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進と地域の振興に資する。
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	一般財団法人 一庫ダム湖周辺環境整備センター
	所 在 地	川西市中央町12番1号
指定管理業務の内容	<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>1, 知明湖キャンプ場の設置目的を達成するための事業の実施に関する事務 2, 知明湖キャンプ場の使用許可、使用制限、使用許可の取消等に関する事務 3, 知明湖キャンプ場の使用料の徴収及び減免に関する業務 4, 知明湖キャンプ場の使用料の還付に関する業務 5, 知明湖キャンプ場の施設及び附属設備の維持管理に関する業務 6, その他知明湖キャンプ場の設置目的を達成するため市長が必要と認めた業務</p>	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント

1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】

(1) 施設の設置目的である事業運営の達成

【評価のポイント】

事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。

利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。

施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。

【所見】

A 総じて妥当と判断する。

B 事業計画に沿った事業が実施されている。積極的な広報活動により利用者数の増加を図ろうとしている。ダッチオープンセミナー等の開催を計画するなど、一層の利用促進を図る取組みをしている。

C 最近のキャンプブームで集客が多く、土日や祝日、GW等はかなりにぎわっている。冬場も開いているので便利になった。

【改善項目】

A PR活動に関しては、SNS・FB等、コストがかからない方法を工夫してはどうか。

B 回答なし。

C HPからも予約ができるが、わかりやすくしてほしい。

(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況

【評価のポイント】

施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。

実施された事業への参加者数の増が図られたか。

【所見】

A 総じて妥当と判断する。利用者減は7月豪雨のためで、やむをえずと思う。

B 児童の自然とのふれ合いの機会を創る里山体験学習への協力等、環境保全と地域住民の福祉向上に寄与する等目的に沿った利用がなされている。

7月の豪雨に伴う土砂災害、浸水等の影響があり利用者数の減少を余儀なくされたが、復旧に全力を挙げられて最小限に食い止めた。

C 小学校の里山学習は今後も協力してほしい。平日の有効利用にもなる。

【改善項目】

A 今後の異常気象、局地的豪雨等に対応する施設整備が必要。

B どうしても天候に左右されるのは否めないが雨天時の中止、キャンセル等を回避できる工夫が必要。

C 季節毎にキャンプ場の自然を生かした事業を行ってほしい。

(3) 利用者の満足度

【評価のポイント】

利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。

利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。

利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。

その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。

【所見】

A 総じて妥当と判断します。

B 利用者の状況については、利用者数の増加やリピーターが多いことから満足度は高いと評価できる。

C リピーターが多く、市内の利用者に認知されている。

【改善項目】

A 利用者からの苦情は殆どなく、対応も適切。冬季の開場についての検討を、行政と共にされたい。

B 老朽化した施設等の保守・修繕などを計画的に行う必要がある。

C 利用者に注意事項等、施設の使い方等の説明書類を最初に配って、マナーを守るように依頼する。

評価項目及び評価のポイント

2 効率性の向上に関する取組み【効率性】

(1) 経費の節減

【評価のポイント】

施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。
 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。

【所見】

- A 総じて妥当と認める。
- B 効率的な節減のための細部に渡る検討が加えられて、必要最小限に抑えられている。その中で、利用者の安全を守るための夜間巡回業務を強化していることは評価できる。
- C 経費削減の努力をしている。

【改善項目】

- A 経費節減に向けての従業員の皆さんの努力に敬意を表す。指定管理料が過剰に低額すぎないか検討する。
- B 利用者への節水のお願いは、経費節減の依存度の高い項目であることから、より一層の協力をお願いする工夫をしていただきたい。
- C 今後とも節約(節水・節電)を利用者にもお願いする。

(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価

【評価のポイント】

収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。

【所見】

- A 総じて妥当と認める。
- B 資材販売収入等が増加していることから、利用者の利便性を考慮した取組みが奏功している。HPの当該項目に係る案内も良好である。また、草刈、清掃等の地道な活動も印象がよい。利用料収入の減少は、繁忙期である7月に災害に見舞われた為にやむを得ない。
- C 食材は在庫管理が大変なので、予約販売に限定する。

【改善項目】

- A 減額の要因は7月豪雨のため。
- B 更なる利便性の向上と利用者満足を維持していくために施設の定期的・計画的な修繕が必要であり、1(3)同様、市所管課と連携しながら改善計画を組む必要がある。
- C 市と調整して、設備、特にトイレ等は清掃を良くして美しく保つようにする。

(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価

【評価のポイント】

収支のバランスが適切であったか。
 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。
 収支の内容に不適切な点はなかったか。

【所見】

- A 総じて妥当と認める。
- B キャンプ場収支については適切な運営がなされている。一方で、過度な経費の削減は利用者の利便性、特に安全性を損なう恐れもあるので注意が必要。
- C 経営努力している。

【改善項目】

- A 利用料金制をとる場合、減免団体の利用をどう扱うか、行政との再協議が必要ではないか。
- B 回答なし。
- C キャンプブームが続いているので、HPを充実したりSNSを使って知明湖キャンプ場をアピールしていく。

評価項目及び評価のポイント

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み〔適正性〕

(1) 管理運営の実施状況

〔評価のポイント〕

施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。
施設の維持管理が適切に行われたか。
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。

〔所見〕

- A 総じて妥当と認める。
- B 職員配置は適切に行われており、人材育成・研修体制についても施設の維持管理に必要とされる安全教育等の講習会へ積極的に参加する等、質の向上に努めている。
- C 少ない人員の中、よく頑張っている。

〔改善項目〕

- A 修繕費の管理者と行政との分担を、より一層合理的に見直す必要があるのではないかと。
- B 利用者の安全確保の為に救急に関する講習会等については、市所管課との連携を密にして取り組んでいく必要がある。
- C 適正な施設管理ができるように市と協議する。

(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など

〔評価のポイント〕

施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。

〔所見〕

- A 総じて妥当と認める。
- B 事故防止、防犯対策については、夜間巡回を行うなど適切に行われている。防災対策についても気象警報発令時の緊急事態に対処できるようにマニュアルが整備されている。
- C 対応は適正に行っている。

〔改善項目〕

- A 集中豪雨等の緊急避難訓練は必ず実施すること。
- B 近年では気象状況の激変、地震等の緊急災害が起きる懸念が高まっていることから、危機管理体制の一層の強化が必要であるとする。
- C 安全対策として、近くの病院(市民病院等)を案内できるように地図、住所、電話番号を準備しておく。

総合評価

〔所見〕

- A 総じて妥当と認める。
- B 事業計画に基づく運営管理が適切に行われている。利用者の増加を意識した改善策が実行され、収支面も概ね良好である。
一方で各地の里山でクマやイノシシ、鹿等の出没が報告されており、当キャンプ場近辺でもクマの目撃情報が寄せられたことがあり、今後このような事象が増加すると考えられることから厳重な注意と対策及びその場合の対応が強く求められる。

C 平成30年度は一部が使用できず利用者数は減ったが、適正な管理で、他の施設は有効に使用されている。

[改善項目]

A 余りコストがかからないPR方法と、自主事業の開発が課題。

B キャンプ場の魅力、利便性等をより広範囲に情報発信し、こまめな更新等を行うことが求められる。

C 市民や近隣の住民にもよく知られたキャンプ場になり、より一層利用者が増えるように若い世代にアピールしてほしい。